

3. 生活支援ソフトの改善について

24年度の改善

- 先日、配布した生活支援ソフトは、各自治体からの要望に基づき、以下の改善を行なった。

問題点	主な要望	改善
<ul style="list-style-type: none"> ・データ入力の際、1件ずつ入力するのでは効率が悪い。 ・また既存のデータをテキストデータに変換することが困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルなどでデータを一括入力し、そこからソフトへのデータの取込をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ読込用のエクセルファイルを用意しておき、そのファイルから一括してデータ取込ができるように対応。
<ul style="list-style-type: none"> ・個人台帳、アドバイス表の一括印刷ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人台帳、アドバイス表を一括印刷したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抽出された対象者の個人台帳やアドバイス表の一括印刷機能を追加。
<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイス表のコメントが固定文言のため、保険者ごとの具体的な情報提供ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイス表のコメントを保険者において変更したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイス文言※の編集機能を追加。 ※総合及び項目別のアドバイス(それぞれ該当・非該当・不明の3通り)
<ul style="list-style-type: none"> ・属性別の集計などが自動でできず効率が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ入力したら基本的な集計結果が出るようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集計機能を追加し、機能メニューに追加。
<ul style="list-style-type: none"> ・追加設問を設けて調査をした場合データが生かせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・追加設問についてもデータを生かせるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CSV排出機能を付加したことにより、保険者において、排出されたCSVデータと独自の追加設問のデータを突合した集計・分析を行い易くするよう改善。

※ 調査票例の変更に対応したソフトの改善は、内容確定後に再度行う予定。

生活支援ソフトについて

生活支援ソフトとは

日常生活圏域ニーズ調査の結果を入力・データ処理するソフトで、平成23年6月に厚生労働省から保険者に提供した（Excel2003版、2007・2010版）。

第5期計画策定にあたり21.8%の保険者が利用。（第5期市町村介護保険事業計画の策定過程等に係るアンケート調査より）

主な機能

- 個人台帳の作成
- アドバイス表の作成
- 支援が必要な高齢者の抽出（要介護状態等となるおそれの高い者）

▶調査結果が日常生活圏域単位で様々な分析・検討しやすくなるため、調査実施地域の現状・課題と必要な施策等の検討事項を明らかにすることが一定程度可能となり、介護保険事業計画策定の基礎資料となる。

▶また、記名式で調査を実施した場合、高齢者ごとの状況把握が可能となり、個別ケアの推進にも資するものとなっている。

生活支援ソフトの主な機能イメージ



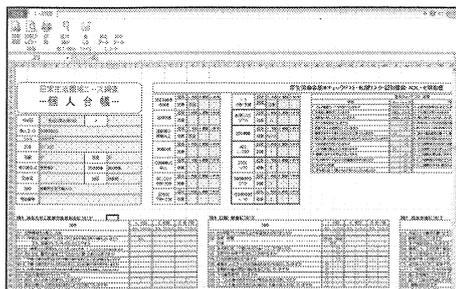
● 調査結果データの入力

- ・ データ読み込み用エクセルファイルからのデータ取込み
- ・ キーボードから手入力
- ・ 定められたテキストファイルからのデータ取込み

● 高齢者個人台帳作成

- ・ 全問回答結果
- ・ 生活機能等評価結果

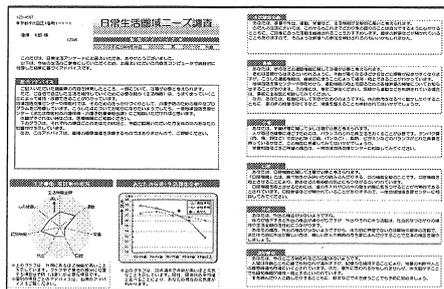
<個人台帳イメージ>



● アドバイス表作成

- ・ 総合アドバイス
- ・ 項目別アドバイス

<アドバイス表イメージ>



● 要フォロー高齢者の抽出

- ・ 認知症リスク者
- ・ 高齢単身者など

<抽出画面イメージ>

